

第155回 定時株主総会



東リ株式会社

2019年 6月 19日 午前10時

於：伊丹本社集会室

第155期 事業年度 監査報告

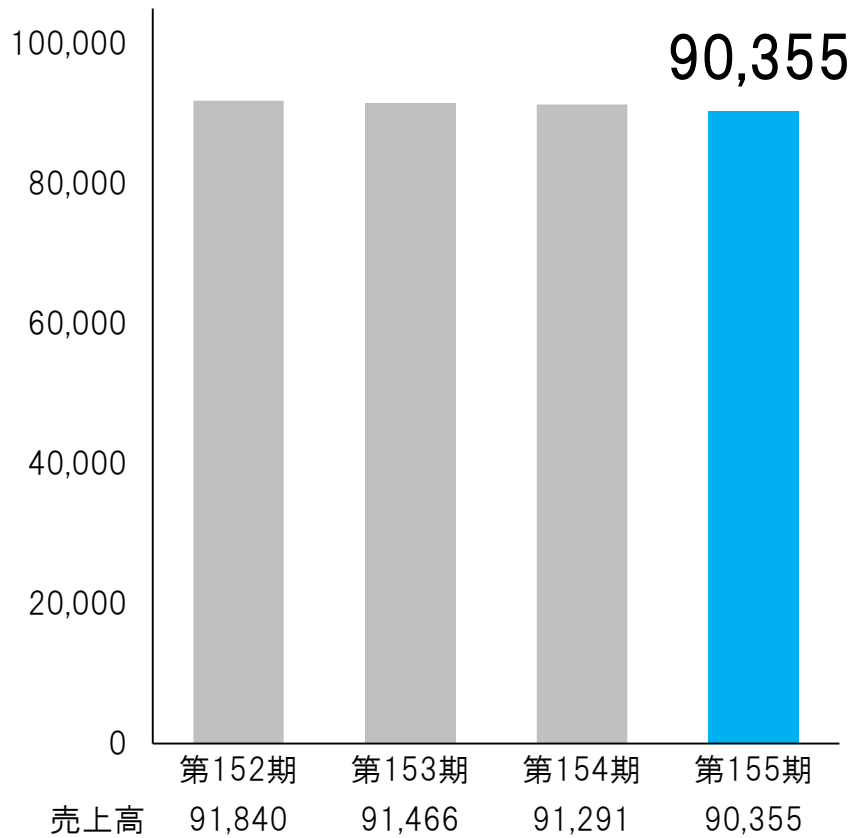
第155期 事業報告および 連結計算書類の内容報告



(連結)事業の経過および成果

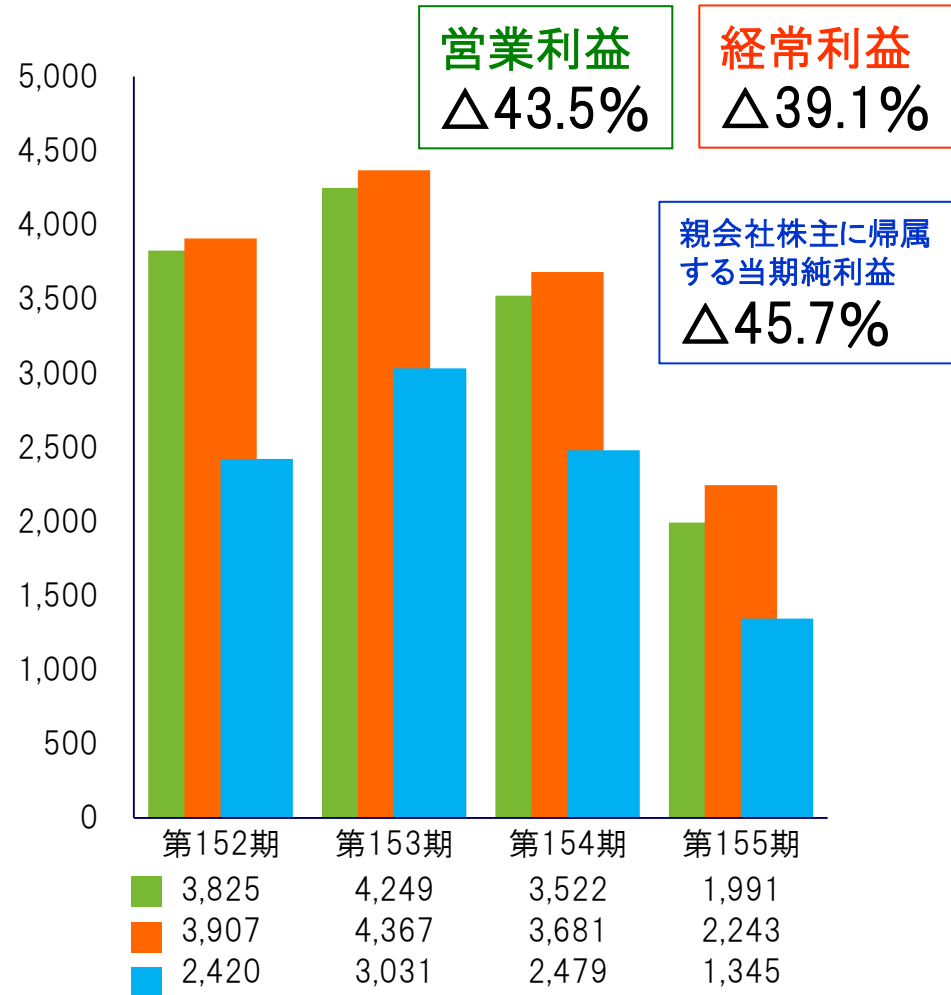
売上高の推移

(百万円)



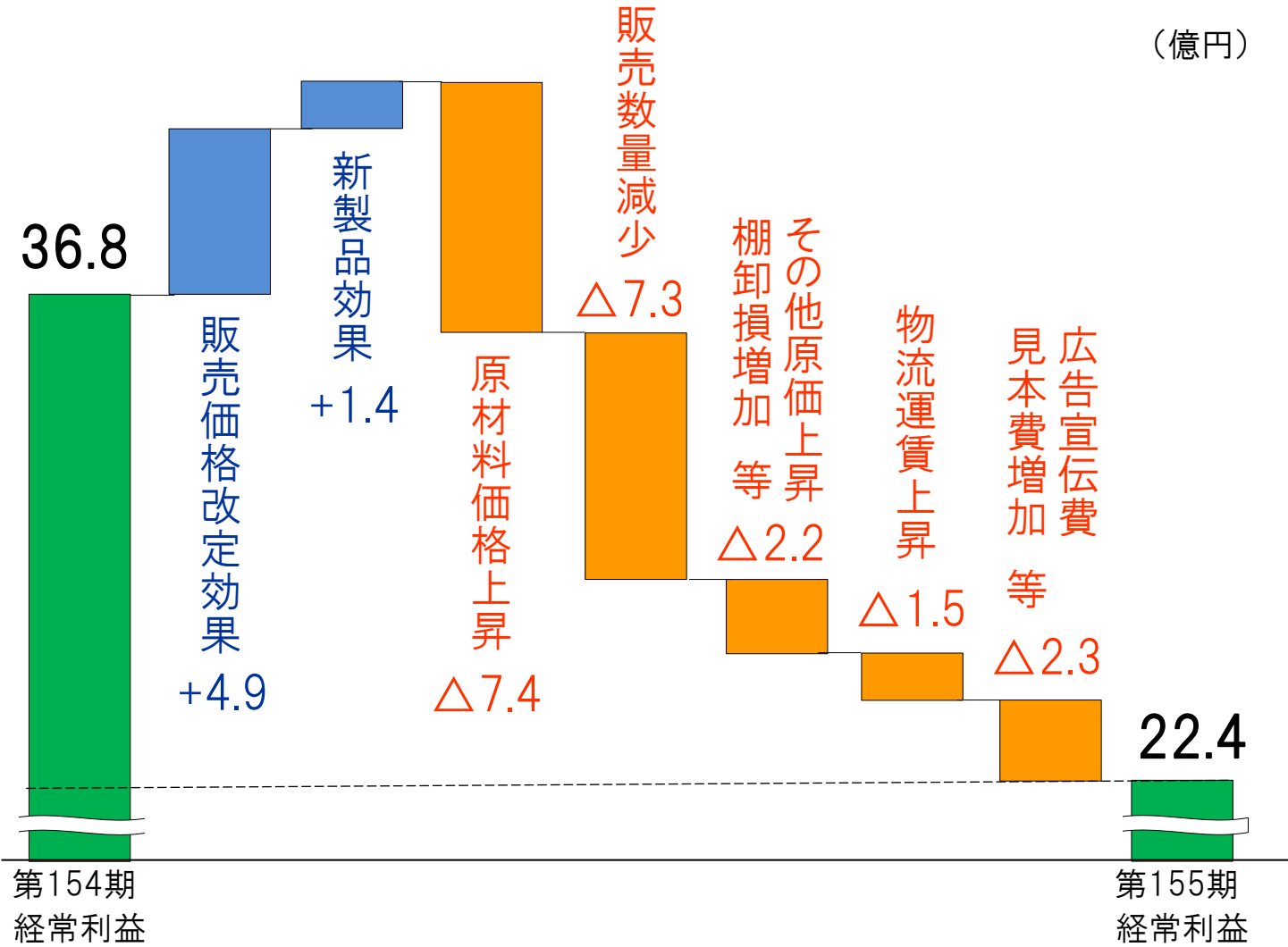
利益の推移

(百万円)





(連結) 経常利益の主な増減要因

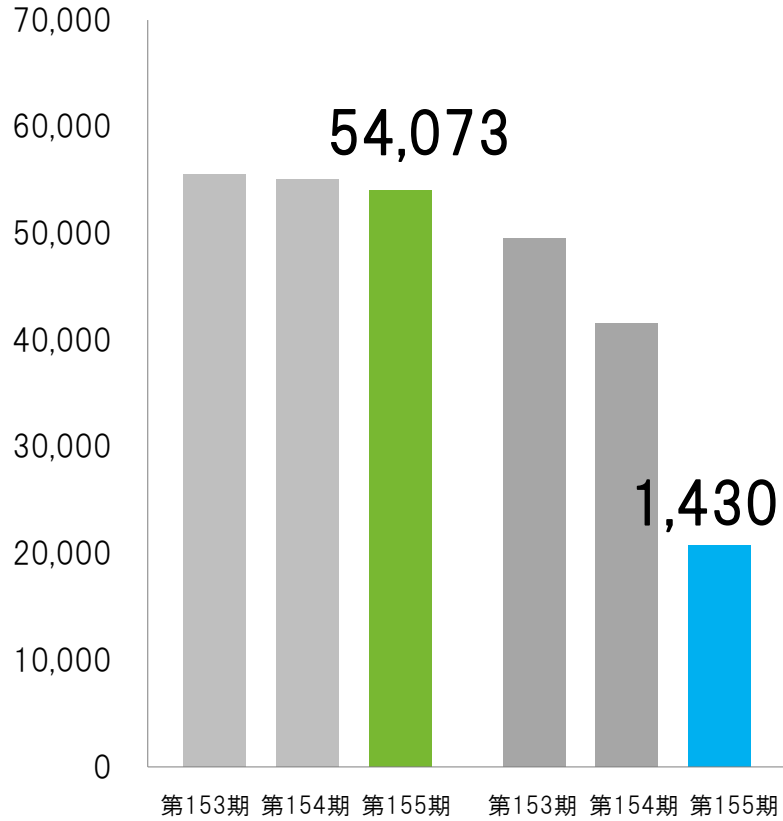




(連結)セグメント別実績

プロダクト事業

(百万円)

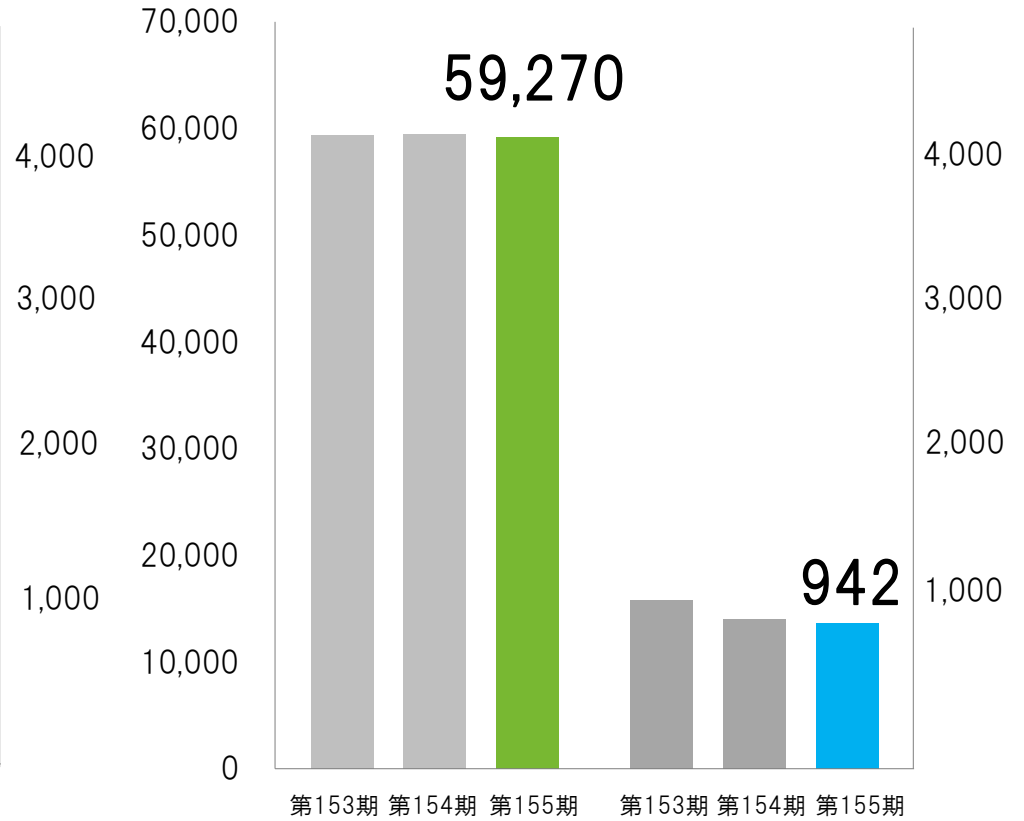


売上高

セグメント利益

インテリア卸及び工事事業

(百万円)

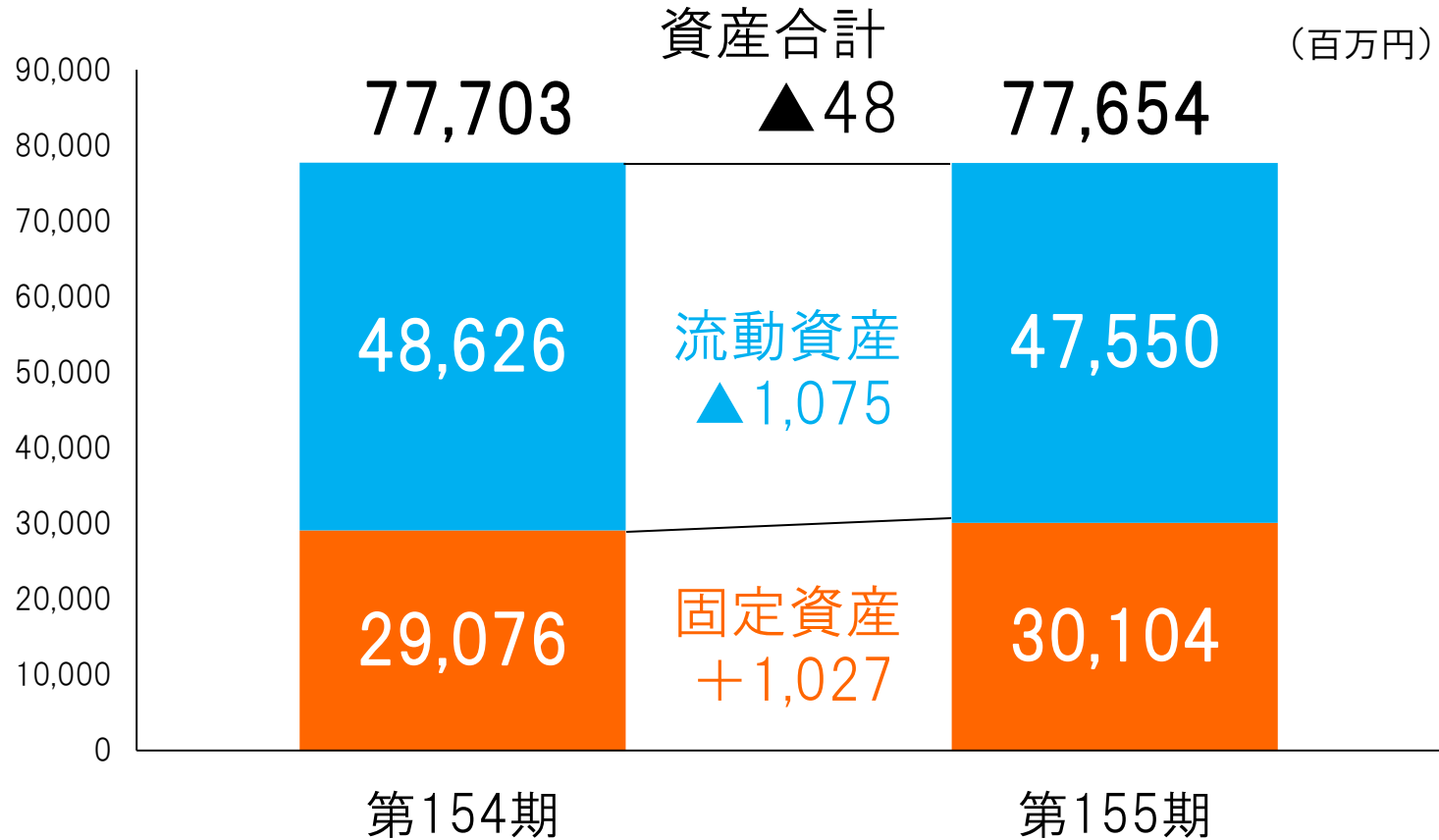


売上高

セグメント利益



(連結)資産の部



【流動資産】

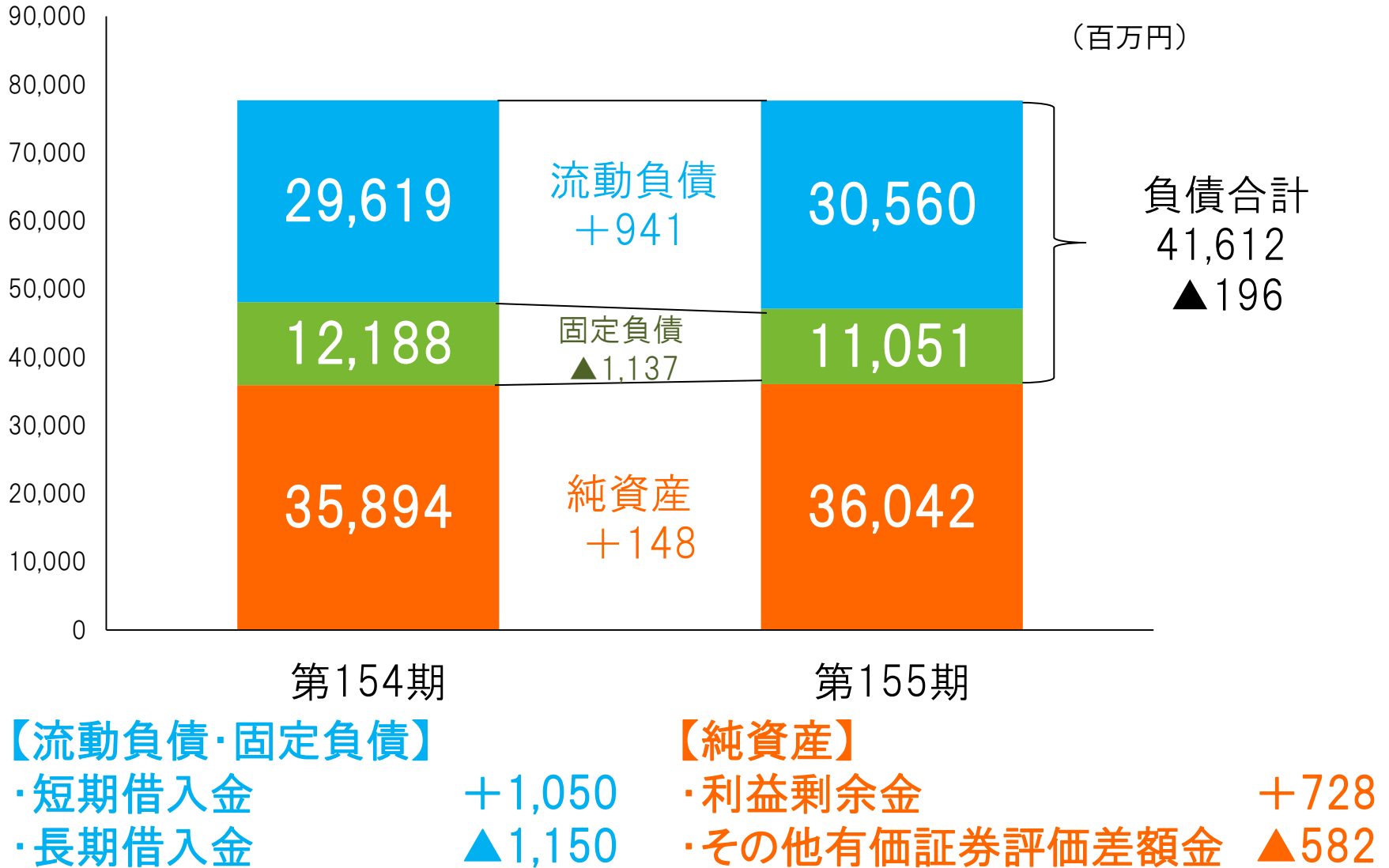
- ・現金及び預金 ▲1,427
- ・棚卸資産 +781

【固定資産】

- ・無形固定資産 +156
- ・有形固定資産 +1,291



(連結)負債の部・純資産の部

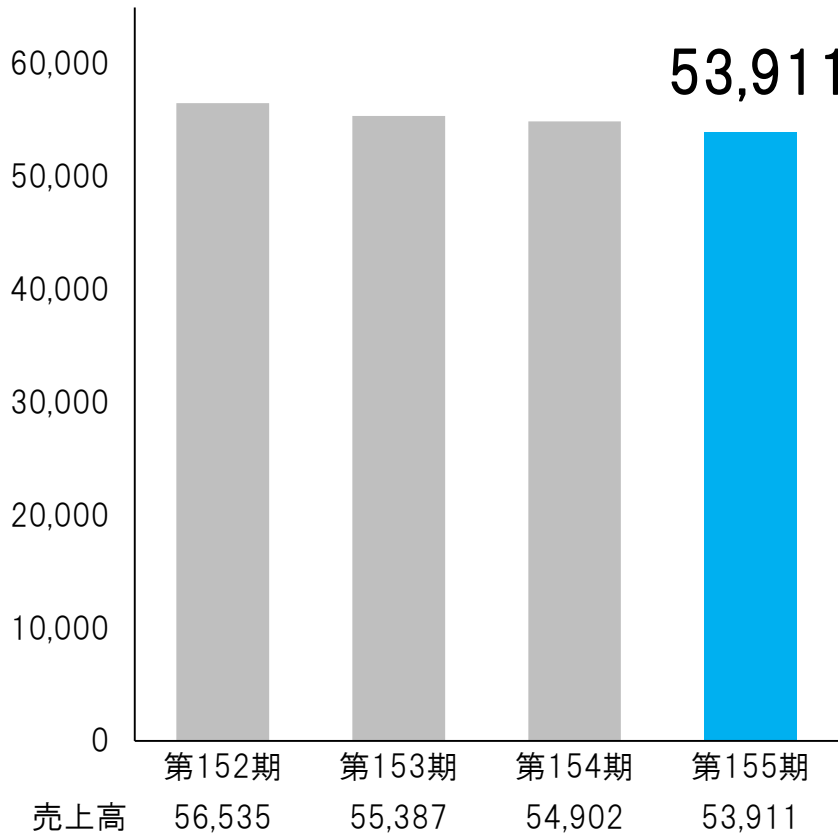




(単体)事業の経過および成果

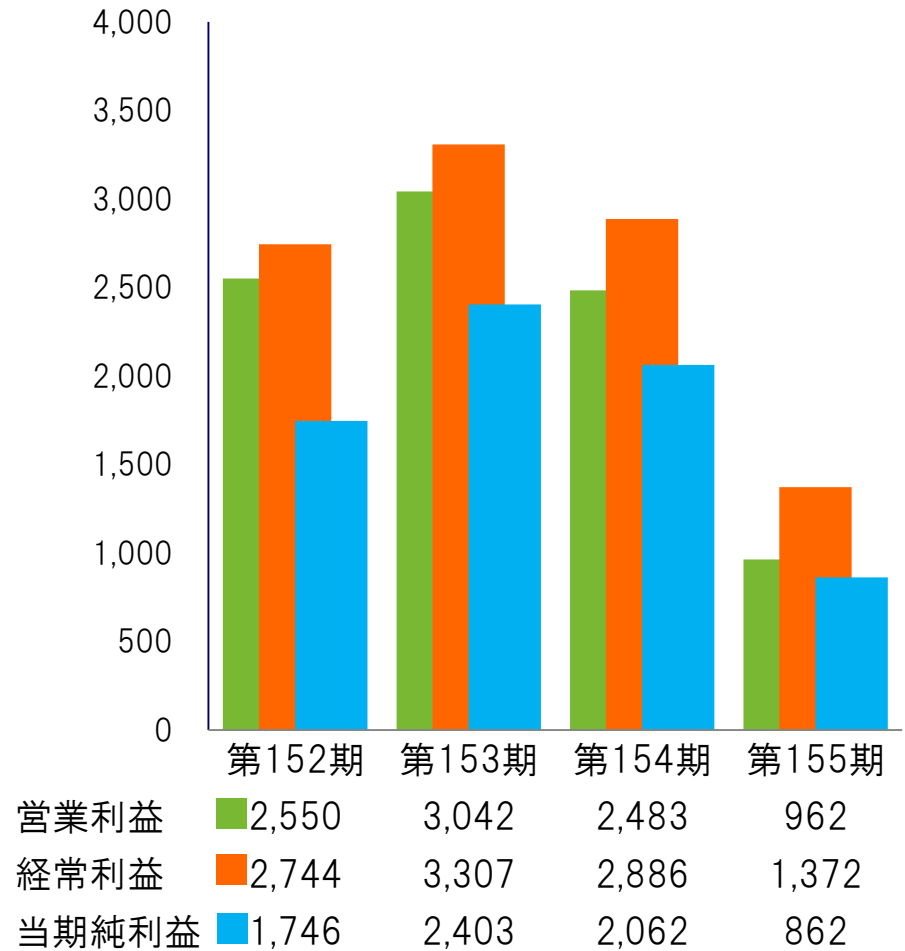
売上高の推移

(百万円)



利益の推移

(百万円)





対処すべき課題

『SHINKA-100』

(フェーズⅠ:2015-17年度 / フェーズⅡ:2018-20年度)

目まぐるしく変化する経営環境に対応すべく、フレキシビリティと強靭さを兼ね備えた事業構造への変革を目指す。

2019年の東リ『創業百年』に向けて、成長戦略と事業基盤強化を推し進め、「百年の先」に向けた更なる発展性を追求する。

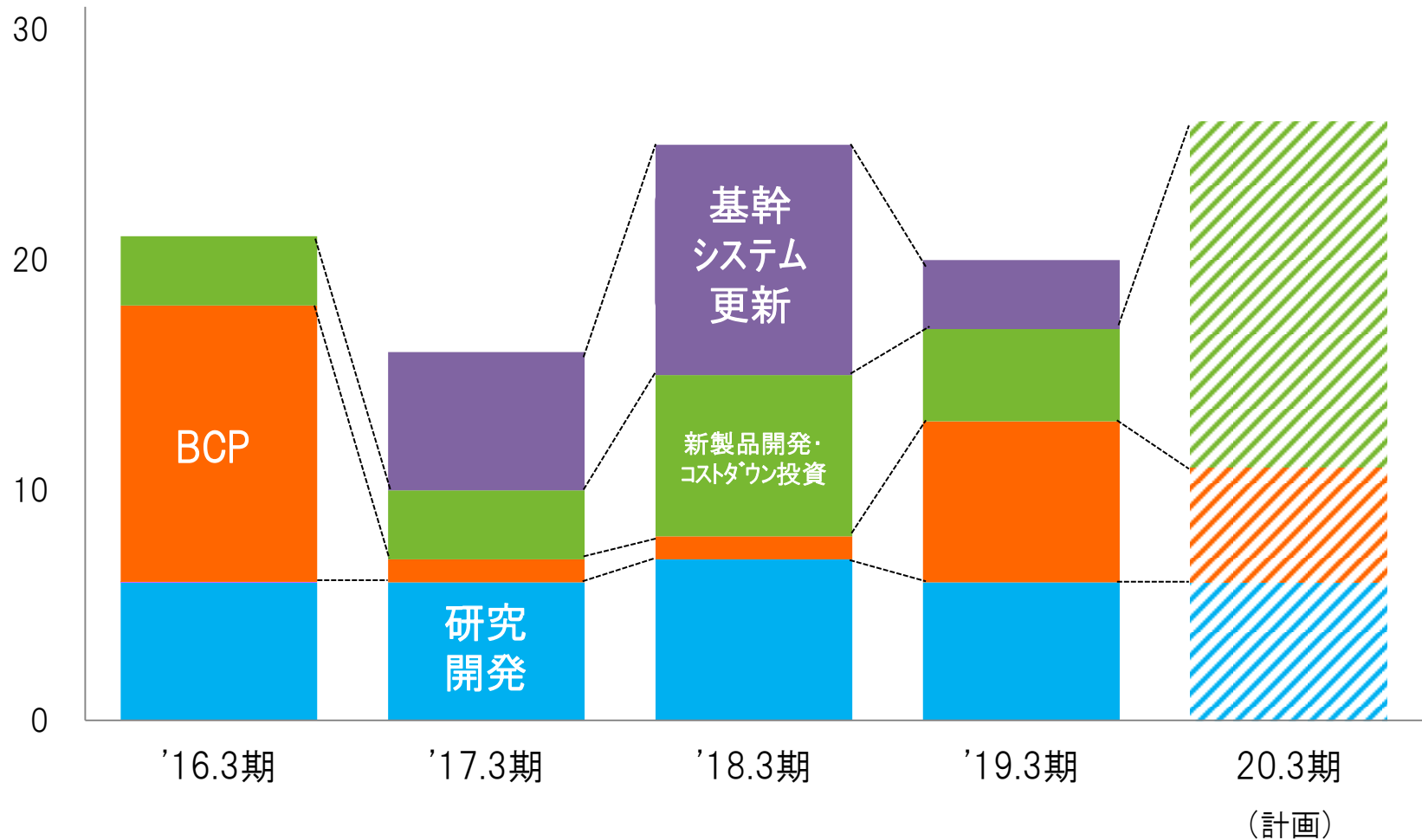


対処すべき課題 ②事業継続性を高める取り組みの推進

戦略的投資実績及び計画

(億円)

※経常的投資除く



環境負荷低減に向けた 取り組みの促進

□ 環境・化学物質に関する諸法規・諸規制の順守

使用原材料の
多面的研究

リサイクル技術の進化
(廃材加工技術・製造設備)

タイルカーペット
リユースシステム
の構築

環境負荷低減
設備の導入
(CO₂排出量削減)

未来志向を高めた基礎的分野における技術研究の推進

多様な人材が能力を最大限に発揮 できるための取り組み

□ 教育研修の充実

- ・グローバル研修の実施
- ・通信教育による自己啓発

□ ダイバーシティの推進

性別、年齢、スキル、国籍やライフスタイルの多様化に対応した
制度と運用の仕組みの整備

- ・女性従業員の職位者への登用(2019年4月現在 9名 女性比率 8.3%)
- ・外国籍社員の採用(2018・2019年度 各2名)
- ・エルダー社員制度見直しによるシニア層の活躍推進

取締役会の実効性向上への取り組み

□ 指名・報酬委員会の設置・運営

- ・過半数を独立社外役員で構成
- ・取締役報酬額、取締役・監査役・執行役員候補者の指名・昇任等への答申

□ 取締役会の実効性に関する分析・評価



対処すべき課題 ⑤適正なコーポレートガバナンスの確保(2)

取締役会の実効性に関する分析・評価

□ 結果概要

分析・評価項目	分析・評価結果	
構成・規模	○	構成・人数は妥当
情報提供	○	経営会議資料の充実及び配付等、情報格差が生じないよう配慮
審議環境	○	十分な時間を確保、「指名・報酬委員会」を設置し事前協議
開催頻度・付議案件	◎	開催頻度は適切、審議項目の適正化推進

□ 独立社外役員の意見

- ・議論の背景、経緯、論点がわかりにくい
- ・経過報告があると理解が深まる

□ 今後の課題

独立社外役員の理解促進の為、重要案件は詳細に説明し、事前配付資料や説明手法の恒常的な工夫・改善を進めていく

東リグループ

中期経営計画『SHINKA-100』

(フェーズⅠ：2015～2017年度／フェーズⅡ：2018～2020年度)

2019年3月期の取り組み



■ 重点戦略

3つの「SHINKA」を重点戦略に掲げ、技術力・販売力・事業基盤の強化を推進

①「進化」～コア事業の進展と創造～

②「深化」～深掘りによる成長性の追求～

③「真価」～成長と信頼を支える事業基盤の強化～

■ スケジュール

中期経営計画『SHINKA-100』(6ヵ年)					
フェーズⅠ(3ヵ年)			フェーズⅡ(3ヵ年)		
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度


『創業百年』



2019年3月期の主な取り組み

①「進化」～コア事業の進展と創造～

ハードルの高い技術開発に挑戦し、事業領域の拡大によるコア事業の強化を図る。

・汎用ビニル床シート『フロアリュームプレーン/マーブルNW』発売

・機能性ビニル床シート『ケアセーフNW』発売

⇒ ワックスメンテナンス不要商品の拡大

・単層ビニル床シート『ヒトエ』発売

⇒ 独自生産技術の確立、機能とデザイン性の両立

・グラフィックタイルカーペット『GXシリーズ』発売

⇒ 独自デザイン(Japan Design)の進化

今後の主な取り組み課題

・付加価値商品の創出に向けた技術研究の強化

・業際事業に向けたアイデア創出

・環境負荷低減技術の確立 など



2019年3月期の主な取り組み

②「深化」～深掘りによる成長性の追求～

成長戦略を更に深掘りし、質的・量的拡大を図り、“明日の成長エンジン”を育む

- ・10億円プロジェクト : スコープ対象商品売上実績 (+6億円)
- ・CR活動の強化推進 : 活動量の増加、宿泊施設売上増加
- ・壁装材事業の拡大 : 売上拡大、商品力(デザイン性)の向上
- ・海外事業の安定成長 : 東璃(上海)の浸透、シンガポール事業拠点設立

今後の主な取り組み課題

- ・CR活動強化によるコア事業のシェア拡大
- ・カーテン事業の強化(新総合見本帳『フル』の垂直離陸)
- ・グローバル事業の質的・量的拡大 など

2019年3月期の主な取り組み

③「真価」～成長と信頼を支える事業基盤の強化～

ブランド力や品質への信頼を高めながら、効率化を図り、事業推進力を高める

- ・新基幹システム稼働 → 業務効率化、棚卸資産削減などに寄与
- ・品質管理体制強化 → 関連部門の品質プロセス監査の実施
- ・事業拠点別BCP推進 → 生産・物流拠点を中心とする再編プロジェクト推進
- ・東リグループ・新経営理念 → 『創業百年』を機に、新たな出発点

今後の主な取り組み課題

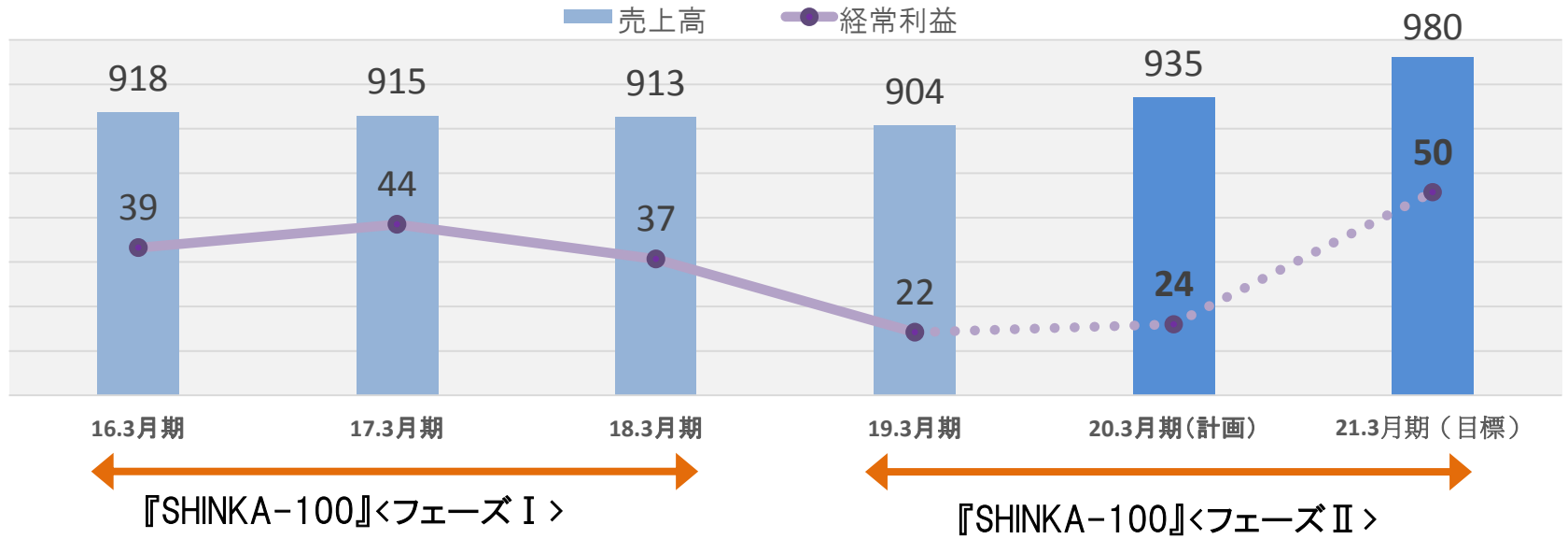
- ・新基幹システムによる投資効果の最大化
- ・安定供給と効率性の同時実現に向けたSCM強化の推進
- ・成長戦略に応じた人材育成・人事制度の見直し など



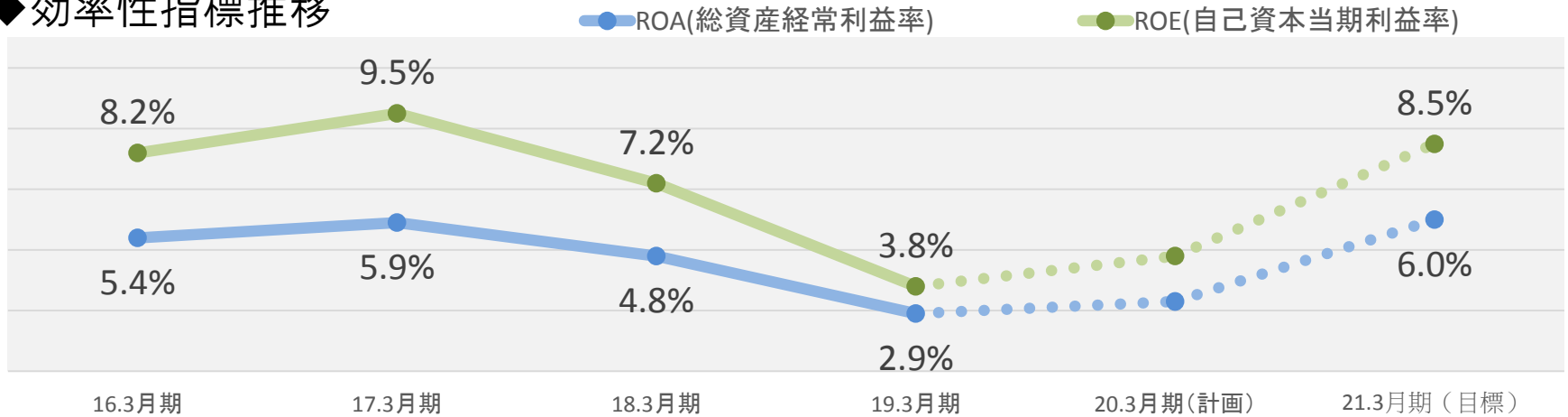
連結経営指標

◆売上利益指標推移

(金額単位:億円)



◆効率性指標推移



2020年3月期 連結業績見通し

よろこびを敷きつめる



(億円)

	2019年 3月期	2020年3月期					
	通期 実績	上期見通し		下期見通し		通期見通し	
			前年比		前年比		前年比
売上高	903	430	+3.0%	505	+3.9%	935	+3.5%
営業利益	19	1	△66.8%	21	+24.3%	22	+10.5%
経常利益	22	2	△56.5%	22	+23.4%	24	+7.0%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	13	2	△10.4%	14	+24.8%	16	+18.9%

2020年3月期の取り組み

主な取り組み課題

- | | |
|------------------------|-----------------|
| ■ CR活動による新商品の早期市場浸透 | ■ グローバル事業展開の加速 |
| ■ 東京五輪関連需要の取り込み | ■ 販売価格改定の徹底 |
| ■ 10億円プロジェクトの2年目の成果 | ■ 新基幹システム効果の最大化 |
| ■ カーテン事業強化(新見本帳『フル』発売) | ■ 設備投資・戦略的投資 |

想定リスク

- | | |
|------------|--------------|
| ◆ 原材料価格の高騰 | ◆ 化学物質規制の強化 |
| ◆ 物流コストの上昇 | ◆ 原材料調達環境の変化 |



議案審議



(1) 配当財産の種類 : 金銭

(2) 1株当たり配当額 : 8円

配当の総額 : 493,508,088 円

※中間配当金 2円を含め、年間配当金 10円

(3) 効力発生日 : 2019年6月20日

取締役候補者

鈴木 潤

天野 宏文

徳島 裕恭

今崎 恭生



監査役候補者

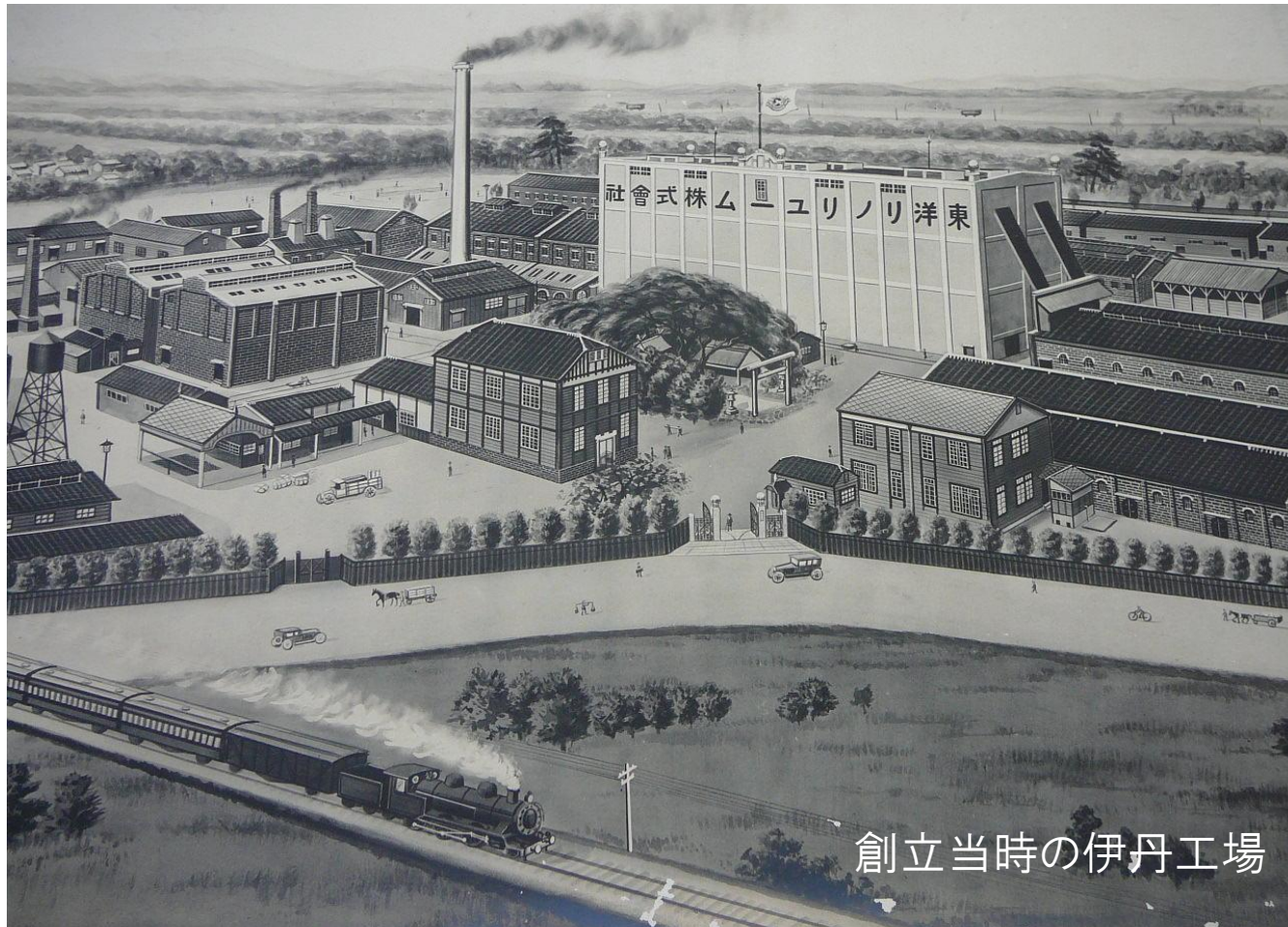
森川 拓

江邊 晴信

渡沼 照夫



第155回 定時株主総会



ありがとうございました

本資料に関する注意事項

本資料に記載されている東リグループの計画・戦略・見通しのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しです。これらは、現時点で入手可能な情報に基づいた東リグループの仮定および判断によるものであり、実際の業績等は、さまざまな要因により、これらの見通しと異なる可能性があります。